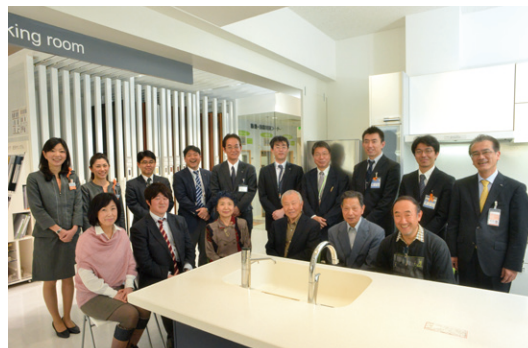


01 横浜港北ショールーム ～横浜市の皆様との対話～

オープンから今年で3年目を迎えた横浜港北ショールームにて、地域に根付いたショールームづくりを目指し、ショールーム周辺に住む皆さまをお迎えして意見交換を行いました。



日時	2013年3月13日	
開催場所	LIXIL 横浜港北ショールーム (神奈川県横浜市都筑区)	
社外ステークホルダー	センター北商業振興会 会長 他1名 早淵川親水広場愛護会 会長 中川連合町内会 会長 中川中央町内会 会長代行 地域でご活躍の女性2名 都筑区役所 区政推進課 係長、総務課 係長	
株式会社 LIXIL からの参加者	堀内 実	神奈川支社 支社長
	斉木 揚	神奈川支社 横浜支店 支店長
	山崎 博志	神奈川支社 ブロック戦略室 室長
	新井 彩子	神奈川支社 LIXIL 横浜港北ショールーム コーディネーター
	皆川 文緒	神奈川支社 LIXIL 横浜港北ショールーム コーディネーター
	三善 泰生	関東人事総務グループ
	水野 治幸	CSR・環境経営推進部 部長
	川合 和之	CSR・環境経営推進部
ダイアログでの話題	地域の活性化やまちづくりへの貢献、防災への協力など	

※所属・役職名は、ダイアログ開催当時の名称です。

港北ニュータウンと LIXIL への期待について

・昭和 40 年頃に港北ニュータウンの構想が持ち上がった当時、この地域は山ばかりの何も無い土地でした。区画整理事業により開発され、都筑区を中心として住民たちが誇れる素晴らしい街が出来上がりましたが、まだまだ完成というわけではありません。より良いまちづくりのため、貴社にも地域の一員として参画いただき、美化活動や各種の催事・イベントなどに幅広くご協力いただきたいと思います。

・都筑区は安心・安全で明るくきれいな街です。その中でも水と緑が豊かな早淵川沿いのこの場所に、立派なショールームを構える企業が来てくれたことを嬉しく思っています。まずは地域に貴社の存在をもっと知ってもらうことが大切です。

歴史ある 5 社の合併により生まれた会社のあゆみをしっかりと伝えるとともに、「都筑区でも、この施設のこの部分に LIXIL 製品が使われている」など分かれば、住民の信頼感は増すのではないのでしょうか。

・港北ニュータウンのまちづくりの基本方針に基づく「グリーンマトリックス構想」により、美しく整備された緑道が多いのが都筑区の魅力です。「センター北」「センター南」駅周辺は都筑区を中心として活性化が進みにぎわいも増してきましたが、貴社が位置する中央地区は企業中心のエリアになっています。ここにいかに住民を呼び込み活性化させるかは現在の課題で、貴社にも地域と一緒に頑張ってまちづくりに取り組んでいただきたいと思います。



横浜港北ショールームの地域との係わり方について

・駅前開発が進む「センター北」駅と「センター南」駅のちょうど中間地点にあるため、周辺の住民に認識されにくいという課題はあるでしょう。貴社ショールームでは小学生の職場体験を受け入れたり、料理教室を開催されたりしているとのこと。そうした取り組みはもっと広く告知されるとよいと思います。また、私たち町内会が取り組む防災・美化活動にも積極的に参加していただけることを期待しています。

・さまざまな地域活動に取り組むグループは多いものの、都筑区にはその拠点となる場所が不足しています。住民たちが気軽に集まって会合を開いたりできる交流スペースを貴社ショールーム内で提供していただければ、活動機会を増やし、地域を活性化していくきっかけになります。また、区民祭りなど多数ある地域イベントにも参加いただき、賑やかなまちづくりをリードする存在になっていただきたいと思います。



・南北を結ぶ遊歩道「みなきたウォーク」沿いに位置する貴社だからこそ、周辺散策をする住民がほっと一息つける場となつてほしいと思います。例えばキッズスペースがあれば、子育て世代が子どもを遊ばせつつショールームを見学できます。この地域は一度住むと将来もここで家を持ちたいと考える人が多い中、さまざまな住宅設備を見ながら理想の暮らしを語り合える場は大いに歓迎されるでしょう。

・まちづくりにおいて企業とどうコラボレーションを進めるか、私たち振興会もまさに今模索している段階です。しかし、地域イベントや防災活動などで企業が地域とつながる機会はいくらでもあります。まずは、貴社がこの地域で何をを目指すのか、どのようなことに取り組んでいくかを明確に打ち出すことが重要でしょう。それに対して私たち商業振興会が協力できることも多いのではないかと思います。

防災への協力について

・都筑区は平成 10 年以降に転入してきた人が区民全体の 7 割にのぼる新しい町で、まちづくりへの意識が高い方が多いのが特長です。区の防災担当者としてぜひお願いしたいのは、横浜市全体で取り組んでいる震災時の帰宅困難者対応へのご協力です。地震発生時に帰宅困難となった従業員の方はもちろん、自社のお客様や地域の方などの受け入れる体制づくりを、今後ご検討いただければ幸いです。



横浜港北ショールームからの回答

・株式会社 LIXIL がスタートし、この横浜港北ショールームが誕生してから今年 3 年目を迎えます。LIXIL として初の試みとなる今回の「コミュニティ・ダイアログ」では、さまざまなご意見をいただき多くのことを勉強させていただきました。これまで地域に根ざした取り組みが十分ではなかった中、私たちが地域社会からどのような期待を受け、いかに貢献していくべきかを真剣に見つめ直す大きな一歩となりました。LIXIL は今後もこうした対話の場を積極的に持ち、地域の活性化や安心・安全なまちづくりについて、皆さまと一緒に考えてまいります。